

# イネホールクロップサイレージを給与した肥育による水田の畜産的利用

## 研究のねらい

我が国の畜産は海外から濃厚飼料原料ばかりでなく、乾草や稲ワラなど粗飼料の一部も輸入している。一方、稲作においては食用米の過剰により生産調整が強化されている。このような状況で、水田機能を維持し、かつ飼料を自給するためにはイネの飼料化が有効であることから、イネで実と茎葉をまるごとホールクロップサイレージ（イネWCS・稲発酵粗飼料）にし、肥育後期の去勢牛に多給した場合の効果を検討した。

## 研究の成果

黄熟期にダイレクトカットで収穫したイネWCS（カロテン含量は10～20mg/kgDM）を給与した。イネWCSの嗜好性は良く、肥育後期の黒毛和種去勢牛に1日当たり7kg給与して、濃厚飼料給与量を節減できる。

イネWCS給与により、血液中のビタミンA濃度は肥育期間を通じて50～60μg/dlの値を維持する。イネWCS給与区では、枝肉格付、脂肪の色（BFSNo.）について稲ワラ給与区と差がない。



図0 黄熟期にダイレクトカットで収穫したイネWCSを黒毛和種去勢牛の肥育後期に給与

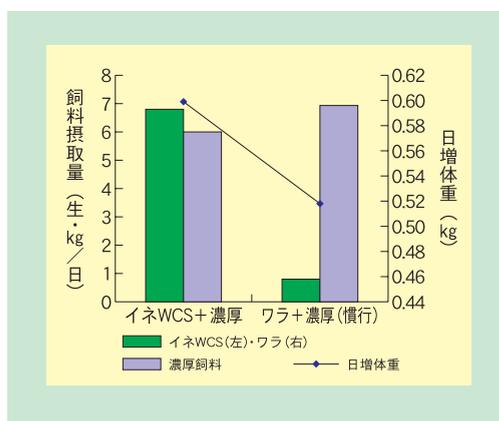


図1 肥育後期に稲発酵粗飼料を給与したときの摂取量と増体量

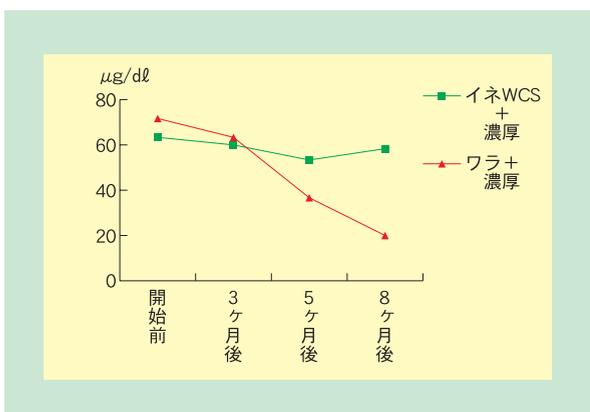


図2 イネWCS給与と血中ビタミンA濃度

表1 肥育後期にイネWCSを多給した牛の枝肉格付（格付以外は6頭の平均）

枝肉重量 (kg)	412
ロース芯面積 (cm <sup>2</sup> )	47.7
皮下脂肪の厚さ (cm)	2.4
脂肪交雑 (BMS)	6.7
肉の色 (BCS)	3.7
脂肪の色 (BFS)	3.0
格付 (5:高~1:低)	A5、A5、A4、B4 A3、B3

## 成果の利活用

イネWCSは、肥育後期において稲ワラ以上の給与効果がある。

ダイレクトカットで収穫したイネWCSの多給によりビタミンAが補給されるが、適期の刈り取りが重要である。

## 成果の発表年 平成13年度

（問合せ先：畜産草地部 栄養飼料研究室 019-643-3543）